

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-05 現代経済と 企業活動	20130587010501	●現代経済と 企業活動 II(国際社会 と日本経済)	和	E	成田 真 樹子	1年,2年,3年,4年	後期	木 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-05 現代経済と 企業活動	20130587010901	●現代経済と 企業活動 II(地域社会 と日本経済)	和	E	柴多 一 雄	1年,2年,3年,4年	前期	金 5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-05 現代経済と 企業活動	20130587011301	●現代経済と 企業活動 II(企業行動 と戦略)	和	E	土橋 力 也	1年,2年,3年,4年	後期	木 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-05 現代経済と 企業活動	20130587011701	●現代経済と 企業活動 II(社会制度 と経済活動)	和	E	神菌 健 次	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-05 現代経済と 企業活動	20130587012101	●現代経済と 企業活動 II(経営情報 と会計情報)	和	E	岡田 裕 正	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～

[戻る](#)

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-05 現代経済と企業活動**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587010501	科目番号	05870105
授業科目名	●現代経済と企業活動II(国際社会と日本経済)		
編集担当教員	成田 真樹子		
授業担当教員名(科目責任者)	成田 真樹子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	成田 真樹子		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	教育学部, 薬学学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス	makki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部・東南アジア研究所319		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	随時(要事前連絡)		
授業のねらい	経済活動は国境を超える。輸出入やお金の移動, 労働者の移動などの問題を通じ, グローバル化による効果と課題について理解する。		
授業方法(学習指導法)	世界経済の様々な事象について講義とグループ学習によって課題の理解を図る。		
授業到達目標	国際的な問題とそれに関連した事象についての現状と課題を説明できる。		
授業内容	(1) ガイダンス (2) 世界経済の動向と課題 3回目以降は以下のトピックを予定しているが, 受講者の人数によって, スケジュールは異なる。 (3) ~ (5) 国際貿易 (6) ~ (8) 為替レート (9) ~ (11) 国際投資 (12) ~ (14) 国際協調と地域統合 (15) まとめ		
キーワード	グローバル化, 貿易, 国際投資		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	①授業中の提出物, グループ学習の貢献度, プレゼンテーション(50%), ②期末試験(50%) ただし, ①による評価が著しく低い場合には期末試験の受験資格を失う。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			

備考（準備学習等）



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-05 現代経済と企業活動**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587010901	科目番号	05870109
授業科目名	●現代経済と企業活動II(地域社会と日本経済)		
編集担当教員	柴多 一雄		
授業担当教員名(科目責任者)	柴多 一雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	柴多 一雄		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	shibatak@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館5階510室		
担当教員TEL	095-820-6346		
担当教員オフィスアワー	毎週火曜日14:30～16:00		
授業のねらい	歴史的な観点から現代の社会や経済に対する理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	テキストは用いず、配布資料と板書を中心に、講義形式で行う。		
授業到達目標	日本の地域社会の発展や経済の歩みを論理的に考察できる。		
授業内容	日本の社会・経済が持つ独自性や強み、日本経済の歩みを振り返り、日本や地域の固有の経済問題を考察する。具体的には、長崎や福岡といった地域の社会経済の発展の歴史を、地域をとりまく世界や日本の歴史の中に位置付けながら、地域の発展の要因や今後の都市のあり方について考察する。		
	回	内容	
	1	はじめに	
	2	中世の国際貿易都市博多	
	3	大航海時代の長崎	
	4	城下町福岡	
	5	貿易都市長崎	
	6	近代都市長崎	
	7	近代の福岡	
	8	中間のまとめ	
	9	戦争と福岡	
	10	戦争と長崎	
	11	戦後長崎の復興	
12	戦後福岡の発展		

	13	現在の長崎市
	14	現在の福岡市
	15	まとめ
	16	定期試験
キーワード	地域 社会 経済 歴史 長崎 福岡	
教科書・教材・参考書	教科書：使用しない。 推薦書：必要の応じ適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	予復習課題30% 授業参加20% 試験20% レポート30%	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-05 現代経済と企業活動**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587011301	科目番号	05870113
授業科目名	●現代経済と企業活動II(企業行動と戦略)		
編集担当教員	土橋 力也		
授業担当教員名(科目責任者)	土橋 力也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	土橋 力也		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	trikiya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部東南アジア研究棟308		
担当教員TEL	095-820-6355		
担当教員オフィスアワー	講義終了後を予定している		
授業のねらい	経営学の基礎的な概念について理解すること。特に、組織と戦略の概念を理解すること。		
授業方法（学習指導法）	配布資料と板書を中心とする。また、ビデオ教材やニュースなどの映像資料を用いることもある。さらに、アクティブ・ラーニングの一環として、学生自身が自ら考え、主体的な学習ができるよう、討論の場を設ける。		
授業到達目標	経営に関する諸問題について、自分なりの解釈ができるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	イントロダクション：企業経営の全体像	
	2	経営学の全体像	
	3	株式会社の仕組み①	
	4	株式会社の仕組み②	
	5	日本の雇用制度の仕組み	
	6	競争戦略のマネジメント：基本的な考え方	
	7	競争戦略のマネジメント：違いを作る3つの基本戦略①	
	8	競争戦略のマネジメント：違いを作る3つの基本戦略②	
	9	多角化戦略のマネジメント	
	10	国際化のマネジメント	
	11	組織構造のマネジメント①	
	12	組織構造のマネジメント②	
	13	モチベーションのマネジメント①	

	14	モチベーションのマネジメント②
	15	授業のまとめ
	16	期末試験
キーワード	企業、組織、戦略	
教科書・教材・参考書	特に指定しない	
成績評価の方法・基準等	期末試験 100% さらに、授業の参加状況に応じて加点することもある。	
受講要件（履修条件）	特になし	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-05 現代経済と企業活動**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587011701	科目番号	05870117
授業科目名	●現代経済と企業活動II(社会制度と経済活動)		
編集担当教員	神菌 健次		
授業担当教員名(科目責任者)	神菌 健次		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	神菌 健次		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	k-kamiz@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館6階		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	個別対応。各自メールにて日時予約のこと。		
授業のねらい	現代の金融の世界で最早常識となっている程度の資産選択理論の基礎を理解する		
授業方法(学習指導法)	講義		
授業到達目標	期間にわたる消費者・企業の意思決定問題を解けるようになること、債券や株式等の金融資産価値評価ができるようになること、平均・分散アプローチを用いて最適ポートフォリオ選択問題を解けるようになること、資産の市場リスクと期待収益率との関係を理解し、資産価値評価や資産選択に応用できるようになること、金融派生証券を用いて、状況に応じた適切なリスク管理手法を提示できるようになること。		
授業内容	第1回 利子率と割引現在価値 第2回 消費と貯蓄に関する意思決定 第3回 債券と株式の評価1 第4回 債券と株式の評価2 第5回 ポートフォリオのリスクとリターン 第6回 ポートフォリオ選択の平均・分散アプローチ1 第7回 ポートフォリオ選択の平均・分散アプローチ2 第8回 資本資産評価モデル1 第9回 資本資産評価モデル2 第10回 先物取引とリスクヘッジ 第11回 先物ポジションの複製と先物価格理論 第12回 オプション取引の基礎 第13回 オプション価格理論1 第14回 オプション価格理論2 第15回 最近の話題から(バリュー・アット・リスク, 信用リスク, リアル・オプション, 天候デリバティブなどを候補として予定) 第16回 総括		

キーワード	
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。参考書として、 1. ボディ&マートン『現代ファイナンス論』改訂版 ピアソン・エデュケーション 2. 三浦良造『リスクとデリバティブの統計入門』日本評論社 3. 久保田敬一『よくわかるファイナンス』東洋経済新報社 を挙げておく。
成績評価の方法・基準等	定期試験100%
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-05 現代経済と企業活動**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587012101	科目番号	05870121
授業科目名	●現代経済と企業活動II(経営情報と会計情報)		
編集担当教員	岡田 裕正		
授業担当教員名(科目責任者)	岡田 裕正		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	岡田 裕正		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	教育学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス	h-okada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部東南アジア研究所307		
担当教員TEL	352		
担当教員オフィスアワー	講義終了後		
授業のねらい	企業が公表する会計情報の中心は貸借対照表と損益計算書に代表される財務諸表である。これらは、自治体や非営利組織でも公表され始めている。この講義では、企業（商業を中心とする）の会計情報を通じて、企業の経営状況を読む基礎を理解する。		
授業方法(学習指導法)	講義では、第1～第8回目は、教材として配布する流通企業の財務諸表を用い、その主要な語句の説明や基礎知識を講義する。それを踏まえて、9回目以降は、各自またはグループに分かれて、課題等に取り組んでもらい、発表等をしてもらう。（ただし下記授業内容は予定であり、進捗状況によって変更する可能性がある。） また、可能であれば、適宜新聞記事等を用いて、最近の話題についてとりあげ、この講義で学んだことがどのように役立つかについて考えてもらいたい。		
授業到達目標	企業が公表する貸借対照表と損益計算書の主要な項目の意味と、それに基づいて企業経営の状況を理解できる		
	回	内容	
	1	イントロダクション：企業会計と財務諸表 「経済活動あるところ会計あり」 企業だけが財務諸表を作るわけではない	
	2	財務諸表の技術的基盤：簿記の概要 500年以上変わらない独特の記録計算の仕方	
	3	財務諸表を取り巻く制度：日本の会計制度と国際的な動向 会計にもグローバル化の波（コンバージェンス、アドプション、コンドースメント）	
	4	貸借対照表の主な項目（1）：流動資産 商品と製品は違う 会計の世界の現金と日常用語の現金は違う	
	5	貸借対照表の主な項目（2）：固定資産	

授業内容		スーパーやデパートの土地と不動産会社の土地、どちらが固定資産？	
	6	貸借対照表の主な項目(3)：負債(社債と引当金) 負債もいろいろあるが、社債と引当金の意味を中心に	
	7	貸借対照表の主な項目(4)：純資産(株主資本、評価換算差額) 資本金は現金ではない、最初に持っていた金額＝利益計算の基準値	
	8	損益計算書の主な項目：売上総利益、営業利益、経常利益、税引前当期純利益、当期純利益 最終黒字(赤字)と経常黒字(赤字)、一口に「儲かった」というがその意味は？	
	9	財務諸表を眺める：これまでの知識に基づいて、配布した資料から読めること	
	10	財務諸表分析(1)：流動比率、当座比率、自己資本比率、固定比率、長期適合比率 支払い能力をどうみる？ 会社の安定性をどうみる？	
	11	財務諸表分析(2)：ROEとROI(ROA)その1 収益性があるとかないとかいうけど、どういう意味か	
	12	財務諸表分析(3)：ROEとROI(ROA)その2 収益性を分解してみる	
	13	財務諸表分析(4)：損益分岐点分析 どこまで売れば採算はとれるか？	
	14	分析結果の解釈：これまでの計算結果をどう読むか？	
	15	そのほかの財務諸表：キャッシュフロー計算書 貸借対照表と損益計算書だけが財務諸表ではない	
	16	最終試験	
	キーワード	貸借対照表、損益計算書、資産、負債、純資産、収益、費用、損益	
	教科書・教材・参考書	テキストは特に使用しないが、商企業が公表する財務諸表(またはそのひな型)を教材として最初の講義で配布する。可能であれば、新聞記事等も配布する。 参考書：永野則雄『ケースブック会計学入門』新世社 田中建二『財務会計入門』中央経済社	
	成績評価の方法・基準等	発表等の講義に臨む姿勢(10%)、レポート又は課題(30%)、最終試験(60%)により評価する	
	受講要件(履修条件)	前提知識はとくに問わないが、経済や企業について広い関心のある者、先人や他者から謙虚に学び、学習を進めていくことに関心のある者の受講を希望する。また、新聞や日々のニュースに耳を傾けることが、社会現象の観察眼・批判的思考力を向上させる機会となることを念頭に受講しなければならない。	
本科目の位置づけ	この講義では企業会計を対象とするが、会計は学校、自治体、病院等にもある。その基本が企業会計である。		
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)	第1回目の講義では、皆さんが持っている会計のイメージを聞くので、準備しておくこと		

